令和２年４月１日現在

令和２年度入学生対象

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔医学部保健学科　看護学専攻〕

プログラムの名称（和文）	看護学プログラム
（英文）	Program for Nursing

１．取得できる学位

学士（看護学）

２．概要

本プログラムは、幅広く深い教養を基盤に、豊かな人間性と高い倫理観を養い、専門職となるための基礎的知識と技能及び態度を修得し、課題発見・解決力と協働力を備えた、社会の人々に信頼される看護実践者を育てることを目指している。さらに科学的思考力と創造力に富む、将来の看護学の発展に寄与できる看護学研究者を育成することを目指している。

３．ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・プログラムの到達目標）

本プログラムでは、看護専門職者としての基礎的知識、技能、態度を修得し、さらには科学的思考力と創造性を発揮できる人材を養成する。そのため、本プログラムでは、以下の能力を身につけ、教育課程の定める基準となる単位数を修得した学生に「学士（看護学）」の学位を授与する。

１）看護の基盤となる人間・健康・環境・看護実践理論を理解し、必要な知識を習得する。

２）援助的関係を形成するために必要な能力を習得する。

３）看護実践において科学的に判断し、計画的に実施する能力を習得する。

４）看護実践において生命や人の尊厳を重視し、人権を擁護する倫理的判断能力を習得する。

５）看護職者として、特定の健康課題に対応する実践能力を習得する。

６）他職種と連携・協働し、保健医療福祉組織における看護職者としての役割を果たす実践基礎能力を習得する。

７）看護学の発展に寄与する専門職者として研鑽し続けるための基本姿勢を習得する。

４．カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本プログラムでは、プログラムが掲げる到達目標を学生に実現させるために、次の方針のもとに教育課程を編成し、実践する。

第1ステップ：1年次で、「豊かな人間性と幅広い教養、専門科目を支える教養教育科目」「人間の心身の機能に関する専門基礎科目」「看護実践の基礎となる専門科目」を履修し、複眼的な視野で広範な教養を育むとともに、健康と看護について深く探求するための基礎的知識を習得する。

第2ステップ：2年次に、「疾病の予防、発症、治癒に関する専門基礎および専門科目」「健康と環境に関する専門科目」「看護基礎技術に関する専門科目」「ヘルスケアシステムに関する専門科目」の科目群を中心に学習を進め、看護学に関する専門知識や人々との援助的関係を形成するために必要な能力を深める。

第3ステップ：3年次第1・2タームに、「個人と家族、地域の健康問題と看護に関する専門科目」を履修し、看護実践者として科学的に判断し計画的に実施するための基礎的能力を育成する。

第4ステップ：3年次第3・4タームと4年次第1・2タームで、「看護実践上の判断能力を習得するための臨地実習」を履修し、看護実践者に必要な基礎的能力と、保健医療福祉組織の中で他職種と連携・協働し、看護職者としての役

割を果たす実践基礎能力を育成する。また、4年次第1～4タームでは、「卒業研究」を通して、より包括的に看護学を考究し、問題の発見と解決に向けた探求の基本姿勢を育成する。

なお、学修の成果は、各科目の成績評価と共に教育プログラムで設定する到達目標への到達度の2つで評価する。

５．開始時期・受入条件

1年次より開始

６．取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

保健師コースを選択した場合、保健師国家試験受験資格

助産師コースを選択した場合、助産師国家試験受験資格

養護教諭コースを選択した場合、養護教諭一種免許状

７．授業科目及び授業内容

※授業科目は、別紙１の履修表を参照すること。（履修表を添付する。）

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

８．学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示する。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4、A=3、B=2、C=1と数値に変換した上で、加重値を加味し算出した評価基準値に基づき、入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」、「優秀(Very Good)」、「良好(Good)」の３段階で示す。

成績評価	数値変換
S（秀：90点以上）	4
A（優：80～89点）	3
B（良：70～79点）	2
C（可：60～69点）	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00～4.00
優秀(Very Good)	2.00～2.99
良好(Good)	1.00～1.99

※別紙２の評価項目と評価基準との関係を参照すること。

※別紙３の評価項目と授業科目との関係を参照すること。

※別紙４のカリキュラムマップを参照すること。

９．卒業論文（卒業研究）（位置づけ、配属方法、時期、評価基準等）

位置付け：看護に関して追求しようとする課題を明確にし、仮説もしくは独自の構想をデータや資料によって実証または記述する過程を踏むことを通して、科学的探求の基本的なプロセスを理解し、論文作成の基本的技術を習得する。

配属方法：学生が、自ら目指す研究テーマを考え、自ら指導教員を選ぶ。
指導教員には、看護学専攻教員があたる。なお、他専攻（作業療法学、理学療法学）教員を指導教員として選択することも可能である。

時 期 等：４年次

評価基準：卒業論文の評価は、次に定める評価基準に基づいて評価するとともに、関連する科目の成績評価基準に含める。

Ⅰ 論文の審査項目

1） 看護学専門領域における学士としての基礎的知識を修得しており、問題を把握し解明する基本的な能力を身につけているか。

2）テーマの設定が学士として妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。

3）論文の記述（本文、図、表、引用など）が適切であり、論理的に妥当な結論が導かれているか。

4）設定したテーマに際して、適切な調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。

１０．責任体制

ＰＤＣＡ責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価（check)・改善（action))

看護学専攻会議、保健学科会議、医学部教授会においてその構成員により実施している。

別表第１

教養教育科目履修基準表

医学部保健学科看護学専攻

区分	科目区分			要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修年次（注１）							
								１年次		２年次		３年次		４年次	
								前	後	前	後	前	後	前	後
教養教育科目	共通科目			2		2	選択必修			○					
	基礎教育科目	大学教育入門		2	大学教育入門	2	必修	○							
		教養ゼミ		2	教養ゼミ	2	必修	○							
		領域科目		8	人文社会科学系科目群から2科目4単位以上 自然科学系科目群から2科目4単位以上	1又は2	選択必修	○	○						
		外国語科目	英語（注2） コミュニケーション基礎	2	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	必修	○							
					コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○						
			英語（注2） コミュニケーションⅠ	2	コミュニケーションⅠA	1	必修	○							
					コミュニケーションⅠB	1		○							
			英語（注2） コミュニケーションⅡ	2	コミュニケーションⅡA	1	必修		○						
					コミュニケーションⅡB	1			○						
			初修外国語（ドイツ語，フランス語，中国語，のうちから１言語選択）	(0)	ベーシック外国語Ⅰ	1	自由選択	○							
					ベーシック外国語Ⅱ	1		○							
					ベーシック外国語Ⅲ	1			○						
					ベーシック外国語Ⅳ	1			○						
		情報・データサイエンス科目（注３）		2	情報活用基礎	2	選択必修	○							
					情報活用演習	2			○						
		健康スポーツ科目		(0)		1又は2	自由選択	○	○						
		社会連携科目		(0)		1又は2	自由選択	○	○						
	基盤科目			2	医療従事者のための心理学(注4)	2	必修		○						
				2	統計学	2	選択必修		○						
					ヘルスサイエンスのための基盤数学	2		○							
				2	初修物理学	2	選択必修（注5）	○							
					初修生物学	2		○							
計	必修・選択必修科目小計			28											
	自由選択科目小計			10	（注6）										
	教養教育科目合計			38											

注１：　○印は標準履修セメスターを表している。なお，当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により開設期が異なる場合があるので，学生便覧の教養教育開設授業科目一覧で確認すること。

注２：　短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「オンライン英語演習Ⅰ」，「オンライン英語演習Ⅱ」，「オンライン英語演習Ⅲ」：各1単位（同一科目を重複して単位を修得することは不可）の履修により修得した単位を，卒業に必要な英語の単位（6単位）に代えることが可能である。また，外国語技能検定試験，語学研修による単位認定制度もある。詳細は，学生便覧に掲載の教養教育の英語に関する項を参照のこと。

注３：　1年次前期開設の「情報活用基礎」を履修すること。なお，「情報活用基礎」の単位を修得出来なかった場合のみ，後期開設の「情報活用演習」を履修することができる。

注４：　「医療従事者のための心理学」の単位を修得できなかった場合のみ，「心理学概論A」又は「心理学概論B」の履修により修得した単位を，「医療従事者のための心理学」の単位の修得として卒業に必要な単位（2単位）に算入することが可能である。

注５：　「初修物理学」，「初修生物学」の単位を修得すべき者は，保健学科において指定する。なお，指定のない者は，各自でいずれか1科目を選択し，履修すること。

注６：　自由選択科目は，要修得単位数を超えて修得した領域科目，初修外国語，健康スポーツ科目及び履修基準表で指定されていない基盤科目，社会連携科目の中から合計10単位以上を修得すること。

（注）　養護教諭一種免許状を取得しようとする者は，領域科目の「日本国憲法」2単位，及び健康スポーツ科目から2単位を修得すること。

専門教育科目履修基準表

医学部保健学科看護学専攻

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後
専門教育	専門基礎科目	人間発達学	2	必修		②						
		解剖生理学Ⅰ	2	必修	②							
		解剖生理学Ⅱ	2	必修		②						
		微生物学・免疫学	2	必修			②					
		栄養学	2	必修			②					
		病理学	2	必修			②					
		臨床薬理学	2	必修			②					
		臨床生化学	1	必修				①				
		臨床病態学	2	必修			②					
		健康管理論	2	必修			②					
		社会福祉学	2	必修				②				
		保健英語	1	選択			1					
		Introduction to Epidemiology and Population Sciences	2	選択				2				
		Global Health and Current Public Health Issues	2	選択					2			
	専門科目	成人健康障害看護	2	必修					②			
		老年健康障害看護	2	必修				②				
		小児健康障害看護	2	必修				②				
		周産期健康障害看護	2	必修				②				
		精神健康障害看護	2	必修					②			
		看護実践学原論	2	必修	②							
		看護技術学・基礎演習	2	必修			②					
		看護技術学・応用演習	2	必修				②				
		ヘルスアセスメント	1	必修			①					
		看護診断方法論演習	1	必修				①				
		看護管理学概論	2	必修							②	
		チーム医療と医療安全	1	必修				①				
		災害医療と看護	1	必修				①				
		Nursing in Global Health	2	必修				②				
		基礎看護学実習Ⅰ	1	必修			①					
		基礎看護学実習Ⅱ	2	必修				②				
		総合実習	2	必修							②	
		多職種間連携教育	1	選択							1	
		カウンセリング演習	1	選択					1			
		成人看護学概論	2	必修			②					
		成人看護方法演習	3	必修					③			
		老年看護学概論	2	必修			②					
		老年看護方法演習	1	必修					①			
		小児保健学	1	必修			①					
		小児看護学概論	1	必修			①					
		小児看護方法演習	1	必修					①			
		母性看護学概論	1	必修		①						
		リプロダクティブヘルスとセクシュアリティ	1	必修		①						
		母性看護方法演習	1	必修				①				
		精神看護学概論	2	必修				②				
		精神看護方法演習	1	必修					①			
		地域看護学概論	1	必修		①						
		地域包括ケア論	2	必修						②		
		在宅看護方法演習	1	必修							①	
		地域看護学実習Ⅰ	1	必修							①	
		地域看護学実習Ⅱ	1	必修							①	
		成人看護学実習(急性期)	2	必修						②		
		成人看護学実習(慢性期)	2	必修							②	
		成人看護学実習(回復期・クリティカルケア)	2	必修						②		
		老年看護学実習(治療期・緩和ケア)	2	必修						②		
		老年看護学実習(退院支援・長期ケア)	2	必修					②			
		小児看護学実習	2	必修						②		
		母性看護学実習	2	必修						②		
		精神看護学実習	2	必修						②		
		Independent Study	2	選択							2	
		研究方法論	1	必修							①	
		卒業研究	3	必修							③	
		保健統計学	2	選択					2			
		疫学	2	選択					2			
		保健政策論	2	選択						2		
		公衆衛生看護学概論	1	選択				1				
		公衆衛生看護学Ⅰ	2	選択					2			
		公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択					2			
		公衆衛生看護方法演習	1	選択							1	
		基礎助産学	2	選択					2			
		地域子育て支援論	1	選択					1			
		学校保健概論	1	選択			1					
		学校保健演習	2	選択						2		
	専門基礎科目　開設単位数　必修：21単位　選択：5単位　要履修単位数　必修：21単位											
	専門科目　開設単位数　必修：72単位　選択：22単位　要履修単位数　必修：72単位											
		専門教育科目計	72									
		卒業要件単位数	131									

注1：実習科目の履修は，所定の授業科目の単位を取得していない場合，許可されないことがある。

注2：保健師国家試験を受けようとする者は，専門基礎科目及び専門科目に掲げる必修科目のほか，次の選択科目を全て履修しなければならない。保健情報学演習，保健政策論，環境生態学演習，公衆衛生看護学Ⅰ，公衆衛生看護学Ⅱ，公衆衛生看護管理，公衆衛生看護実習。

注3：助産師国家試験を受けようとする者は，専門基礎科目及び専門科目に掲げる必修科目のほか，次の選択科目を全て履修しなければならない。助産学概論，助産診断学，母子看護論，助産技術学，助産疾病論，助産方法論，地域母子保健，助産管理学，助産学実習。

注4：養護教諭の免許状を取得しようとする者は，課程10「養護教諭免許取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）」を参照のこと。

保健師国家試験受験資格取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後
		保健統計学	2	必修					②			
		疫学	2	必修					②			
		保健政策論	2	必修						②		
		公衆衛生看護学概論	1	必修				①				
		公衆衛生看護学Ⅰ	2	必修					②			
		公衆衛生看護学Ⅱ	2	必修					②			
		公衆衛生看護方法演習	1	必修							①	
		公衆衛生看護管理	2	必修								②
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	必修							③	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	必修							②	
		学校保健概論	1	必修			①					
		学校保健演習	2	必修						②		

注　保健学科看護学専攻学生で，保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は，教育課程に掲げた履修基準（教養教育科目，専門教育科目）の必修科目を含めて，上記科目を必ず履修しなければならない。

助産師国家試験受験資格取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次 1年次 前	1年次 後	2年次 前	2年次 後	3年次 前	3年次 後	4年次 前	4年次 後
		基礎助産学	2	必修					②			
		地域子育て支援論	1	必修					①			
		助産診断学	4	必修						④		
		助産実践論	4	必修							④	
		助産疾病論	2	必修						②		
		助産管理	1	必修								①
		助産学実習	11	必修								⑪

注　保健学科看護学専攻学生で，助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は，教育課程に掲げた履修基準（教養教育科目，専門教育科目）の必修科目を含めて，上記科目を必ず履修しなければならない。

養護教諭一種免許取得に必要な履修科目 （保健学科看護学専攻）

科目区分		授業科目	単位数	必要単位数	履修セメスター	開講キャンパス
教養教育科目	外国語科目(英語)	コミュニケーションⅡA	1	1	2セメ	東千田
		コミュニケーションⅡB	1	1		
	情報・データサイエンス科目	情報活用基礎 （又は情報活用演習）	2	2	1セメ (2セメ)	東千田 (東広島)
	領 域 科 目	日本国憲法	2	2	1又は2セメ	東千田又は東広島
	健康スポーツ 科 目		2	2	1又は2セメ	東千田又は東広島
専門教育科目	教職に関する専門科目	教職入門	2	2	1～6セメ	奇数年は霞，偶数年は東千田
		教育の思想と原理	2	2		奇数年は霞，偶数年は東千田
		児童・生徒の発達と学習	2	2		奇数年は東千田，偶数年は霞
		教育と社会・制度	2	2		奇数年は東千田，偶数年は霞
		教育課程論	2	2		奇数年は東千田，偶数年は霞
		教育方法・技術論	2	2		奇数年は霞，偶数年は東千田
		道徳教育指導法	2	2		奇数年に霞で開講
		特別活動指導法	2	2		偶数年に東千田で開講
		生徒・進路指導論	2	2		奇数年は霞，偶数年は東千田
		教育相談	2	2		奇数年は東千田，偶数年は霞
		特別支援教育	1	1		偶数年に霞で開講
		総合的な学習の時間の指導法	1	1		奇数年に霞で開講
		養護実習	5	5	7・8セメ	広島大学の附属学校で実習
		教職実践演習（注）	2	2	8セメ	霞(医学部)で開講
	専門基礎科目	臨床薬理学	2	2	3セメ	霞(医学部)で開講
		微生物学・免疫学	2	2	3セメ	霞(医学部)で開講
	専門科目	公衆衛生看護学Ⅱ	2	2	5セメ	霞(医学部)で開講
		学校保健概論	1	1	3セメ	霞(医学部)で開講
		学校保健演習	2	2	6セメ	霞(医学部)で開講
		学校保健技術論	1	選択科目	7セメ	霞(医学部)で開講

1. 保健学科看護学専攻学生で，養護教諭一種免許単位を取得しようとする者は，教育課程に掲げた履修基準（教養教育科目，専門教育科目）の必修科目を含めて，上記科目を必ず履修しなければならない。

2. 「教職に関する専門科目」については，霞キャンパスでは医学部保健学科生用の昼間集中講義で開講し，東千田キャンパスでは法学部及び経済学部夜間主コース生用の夜間集中講義で開講する。

（注）「教職に関する専門科目」は，霞キャンパスで開講される科目については1年次も履修できる。東千田キャンパスで開講される科目については2年次以降履修できる。

（注）教職実践演習（養護教諭）（8セメスター集中授業）を履修するためには，7セメスターに養護実習の履修手続を済ませ，教職実践演習の開始までに養護実習の単位を修得又は修得見込みであること。
7セメスター終了時点で養護実習の単位が修得できておらず，8セメスターで教職実践演習と並行して養護実習を履修することとなった場合，教職実践演習の単位は，養護実習の単位が認定されることを条件として認定する。

別紙2

看護プログラムにおける学習の成果
評価項目と評価基準との関係

学習の成果			評価基準		
評価項目			極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1)	一般教養に関する知識・理解	各科目の到達目標に基づいて行う試験において、他の項目と関連付けて応用的な説明ができる。	各科目の到達目標に基づいて行う試験において、他の項目と関連付けて説明ができる。	各科目の到達目標に基づいて行う試験において、基本的な説明ができる。
	(2)	心身の機能と環境に基づく健康、疾病の予防、発症、治癒に関する知識・理解	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験において、他の項目と関連づけて応用的な説明ができる。	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験において、他の項目と関連づけて説明ができる。	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験において、基本的な説明ができる。
	(3)	看護実践理論、看護の基本的技術と態度に関する知識・理解			
	(4)	個人と家族、地域の健康問題と看護に関する知識・理解			
	(5)	ヘルスケアシステムと看護職者間ならび他職種との協働に関する知識・理解			
	(6)	看護倫理に関する知識・理解			
能力・技能	(1)	根拠に基づき、看護を計画的に実践する能力の知識と理解	①演習において、エビデンスに基づいた看護方法を対象の個別性を考慮して計画に応用できる。 ②演習において、基礎的知識を予習した上で、積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる。 ③レポート作成においては、事象を客観的に評価・考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる。	①演習において、エビデンスに基づいた標準的な看護方法を計画できる。 ②演習において、積極的態度で臨み、学んだことを原理原則に基づいて応用することができる。 ③レポート作成においては、事象を客観的に評価・考察することができる。	①演習において、標準的な看護方法を計画することができる。 ②演習において、積極的態度で臨み、学んだことを原理原則に基づいて展開することができる。 ③レポート作成においては、事象を客観的に記述することができる。
	(2)	健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力の知識と理解			
	(3)	根拠に基づき、看護を計画的に実践する能力の展開	①臨床・臨地において必要な看護実践技能を、自立して、安全かつ正確に実行することができる。 ②利用者の特性やニーズを総合的に捉え、個別的な看護過程を展開することができる。 ③利用者に対する看護実践を評価し、評価結果を別の利用者に対して活かすことができる。	① 臨床・臨地において必要な看護実践技能を、看護職者の助言のもとに、安全かつ正確に実行することができる。 ② 利用者の特性やニーズを総合的に捉え、標準的な看護を計画のうち一部は個別性を考慮して実施することができる。 ③ 利用者に対する看護実践を利用者の反応を踏まえて振り返ることができる。	①臨床・臨地において必要な看護実践技能を、看護職者の補助のもとに、安全かつ正確に実行することができる。 ②利用者の特性とニーズを分析し、標準的な看護を計画することができる。 ③自分の実践を客観的に振り返ることができる。
	(4)	健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力の展開 *利用者：看護実践の場における看護サービスの利用者。患者、相談者、地域住民など包含する。	①利用者に関する看護過程ではエビデンスに基づいた看護方法を、計画に応用できる。 ②基本的な原理原則をふまえた上で、利用者の個別性を考慮して実践できる。また、常に探求的態度で臨み、実践後には客観的評価し、計画の追加修正を行うことができる。 ③看護職者に助言を求め、ディスカッションすることができる。	①利用者に関連したエビデンスに基づいた標準的な看護方法を説明できる。 ②基本的な原理原則をふまえ、利用者の個別性に配慮して実践できる。 ③看護職者に助言を求めることができる。	①利用者に関連した標準的な看護方法を説明できる。 ②基本的な原理原則に基づいて実践できる。 ③看護職者に自分が計画した内容を伝えることができる。
総合的な力	(1)	生命・看護倫理に対する判断力	①問題や課題に気づき、適切な対処行動がとれる。	①問題や課題について、分析することができる。	問題や課題について気づくことができる。課題の分析過程を知り、課題の所在を知る方法を知っている。
	(2)	チームの一員として他者・多職種と連携し協働する能力と態度	各職種の役割を理解した上で、利用者のニーズ充足に必要な職種を考え、適切に働きかけることができる。	各職種の役割を理解した上で、適切に働きかけることができる。	チームの一員であることを認識して行動することができる。
	(3)	研究能力および自己研鑽力	自分の現状を的確に把握し、専門職者として成長するための課題に取り組むことができる。	自ら学ぶ姿勢を有し、向上心をもって行動できる。	問題に気づき、解決するための手段を考え、実践できる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

本プログラムにおける教養教育は，専門教育を受けるための学問的基盤作りの役割を担い，自主的・自立的態度の尊重，情報収集力・分析力・批判力を基礎にした科学的思考力の養成，ものごとの本質と背景を広い視野から洞察することのできる視座の確立，国際人として生きるにふさわしい語学力と平和に関する関心を強化し，幅広い知識を真に問題解決に役立つ知識体系へと統合するとともに，既成の枠を超えた学際的・総合的研究を開拓し推進する能力を養成することを目的とする。

別紙3

評価項目と授業科目との関係

科目区分	授業科目名	単位数	必修・選択区分	開設期	評価項目																										科目中の評価項目の総加重値
					知識・理解												能力・技能								総合的な力						
					(1)一般教養に関する知識・理解		(2)心身の機能と環境に基づく健康，疾病の予防，発症，治癒に関する知識・理解		(3)看護実践理論，看護の基本的技術と態度に関する知識・理解		(4)個人と家族，地域の健康問題と看護に関する知識・理解		(5)ヘルスケアシステムと看護職者間ならび他職種との協働に関する知識・理解		(6)看護倫理に関する知識・理解		(1)根拠に基づき，看護を計画的に実践する能力の知識と理解		(2)健康の保持増進，疾病の予防，健康の回復にかかわる実践能力の知識と理解		(3)根拠に基づき，看護を計画的に実践する能力の展開		(4)健康の保持増進，疾病の予防，健康の回復にかかわる実践能力の展開		(1)生命・看護倫理に対する判断力		(2)チームの一員として他者・多職種と連携し協働する能力と態度		(3)研究能力および自己研鑽力		
					科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	科目中の評価項目の加重値	評価項目中の加重値	
教養教育科目	教養ゼミ	2	必修	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	平和科目	2	選択必修	3セメ	100	1																									100
教養教育科目	大学教育入門	2	必修	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	領域科目	8	選択必修	1･2セメ	100	1																									100
教養教育科目	コミュニケーション基礎	2	必修	1･2セメ	100	1																									100
教養教育科目	コミュニケーションⅠ	2	必修	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	コミュニケーションⅡ	2	必修	2セメ	100	1																									100
教養教育科目	ベーシック外国語Ⅰ・Ⅱから2科目	各1	自由選択	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	ベーシック外国語Ⅲ・Ⅳから2科目	各1	自由選択	2セメ	100	1																									100
教養教育科目	情報・データサイエンス科目	2	選択必修	1･2セメ	100	1																									100
教養教育科目	健康スポーツ科目	1or2	自由選択	1･2セメ	100	1																									100
教養教育科目	社会連携科目	1or2	自由選択	1･2セメ	100	1																									100
教養教育科目	医療従事者のための心理学	2	必修	2セメ	100	1																									100
教養教育科目	統計学	2	選択必修	2セメ	100	1																									100
教養教育科目	ヘルスサイエンスのための基盤数学	2	選択必修	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	初修物理学	2	選択必修	1セメ	100	1																									100
教養教育科目	初修生物学	2	選択必修	1セメ	100	1																									100
専門教育科目	人間発達学	2	必修	2セメ			50	1	30	1	20	1																			100
専門教育科目	解剖生理学Ⅰ	2	必修	1セメ			100	1																							100
専門教育科目	解剖生理学Ⅱ	2	必修	2セメ			100	1																							100
専門教育科目	微生物学・免疫学	2	必修	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	栄養学	2	必修	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	病理学	2	必修	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	臨床薬理学	2	必修	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	臨床生化学	1	必修	4セメ			100	1																							100
専門教育科目	臨床病態学	2	必修	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	保健英語	1	選択	3セメ			100	1																							100
専門教育科目	Introduction to Epodemiology and Population Sciences	2	選択	4セメ			100	1																							100
専門教育科目	Global Health and Current Public Health Issue	2	選択	5セメ			100	1																							100
専門教育科目	成人健康障害看護	2	必修	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	老年健康障害看護	2	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	小児健康障害看護	2	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	周産期健康障害看護	2	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	精神健康障害看護	2	必修	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	健康管理論	2	必修	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	疫学	2	自由選択	5セメ			50	1			50	1																			100
専門教育科目	社会福祉学	2	必修	4セメ			10	1	20	1	30	1	30	1	10	1															100
専門教育科目	看護実践学原論	2	必修	1セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	看護技術学・基礎演習	2	必修	3セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	看護技術学・応用演習	2	必修	4セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	ヘルスアセスメント	1	必修	3セメ													50	1	50	1											
専門教育科目	看護診断方法論演習	1	必修	4セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	看護管理学概論	2	必修	7セメ					40	1			40	1	20	1															100
専門教育科目	チーム医療と医療安全	1	必修	4セメ					30	1			40	1	30	1															100
専門教育科目	災害医療と看護	1	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	Nursing in Global Health	2	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	基礎看護学実習I	1	必修	3セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	基礎看護学実習Ⅱ	2	必修	4セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	総合実習	2	必修	7セメ																					30	1	50	1	20	1	100
専門教育科目	多職種間連携教育	1	選択	7セメ																					30	1	50	1	20	1	100
専門教育科目	カウンセリング演習	1	選択	5セメ																					30	1	50	1	20	1	100
専門教育科目	成人看護学概論	2	必修	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	成人看護方法演習	3	必修	5セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	老年看護学概論	2	必修	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	老年看護方法演習	1	必修	5セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	小児保健学	1	必修	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	小児看護学概論	1	必修	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	小児看護方法演習	1	必修	5セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	母性看護学概論	1	必修	2セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	リプロダクティブヘルスとセクシュアリティ	1	必修	2セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	母性看護方法演習	1	必修	4セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	精神看護学概論	2	必修	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	精神看護方法演習	1	必修	5セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	地域看護学概論	1	必修	2セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	地域包括ケア論	2	必修	6セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	在宅看護方法演習	1	必修	7セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	地域看護学実習Ⅰ	1	必修	7セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	地域看護学実習Ⅱ	1	必修	7セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	成人看護学実習（急性期）	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	成人看護学実習（慢性期）	2	必修	7セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	成人看護学実習（回復期・クリティカルケア）	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	老年看護学実習（治療期・緩和ケア）	2	必修	5セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	老年看護学実習（退院支援・長期ケア）	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	小児看護学実習	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	母性看護学実習	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	精神看護学実習	2	必修	6セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	Independent Study	2	選択	7･8セメ																									100	1	100
専門教育科目	研究方法論	1	必修	7･8セメ																									100	1	100
専門教育科目	卒業研究	3	必修	7･8セメ																									100	1	100
専門教育科目	保健統計学	2	自由選択	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	保健政策論	2	選択	6セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	公衆衛生看護学概論	1	選択	4セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	公衆衛生看護学Ⅰ	2	選択	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	公衆衛生看護方法演習	1	選択	7セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	公衆衛生看護管理	2	選択	8セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	公衆衛生看護実習Ⅰ	3	選択	7セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	公衆衛生看護実習Ⅱ	2	選択	7･8セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	基礎助産学	2	選択	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	地域子育て支援論	1	選択	5セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															
専門教育科目	助産診断学	4	選択	6セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	助産実践論	4	選択	7セメ													50	1	50	1											100
専門教育科目	助産疾病論	2	選択	6セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	助産管理	1	選択	8セメ					40	1			40	1	20	1															100
専門教育科目	助産学実習	11	選択	8セメ																	50	1	50	1							100
専門教育科目	学校保健概論	1	選択	3セメ			20	1	20	1	20	1	20	1	20	1															100
専門教育科目	学校保健演習	2	選択	6セメ													50	1	50	1											100

別紙4

看護プログラムカリキュラムマップ

学習の成果		1年				2年				3年				4年			
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
評価項目		第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
知識・理解	(1)一般教養に関する知識・理解	教養ゼミ(◎)	コミュニケーション基礎Ⅰ(◎)	コミュニケーション基礎Ⅱ(◎)	コミュニケーション基礎Ⅱ(◎)		平和科目(○)										
		大学教育入門(◎)	コミュニケーションⅠA(◎)	コミュニケーションⅡA(◎)	コミュニケーションⅡA(◎)												
		コミュニケーション基礎Ⅰ(◎)	コミュニケーションⅠB(◎)	コミュニケーションⅡB(◎)	コミュニケーションⅡB(◎)												
		コミュニケーションⅠA(◎)	ベーシック外国語(△)	ベーシック外国語(△)	ベーシック外国語(△)												
		コミュニケーションⅠB(◎)	領域科目(○)	情報活用演習(○)	領域科目(○)												
		ベーシック外国語(△)	健康スポーツ科目(△)	領域科目(○)	健康スポーツ科目(△)												
		情報活用基礎(○)		健康スポーツ科目(△)													
		領域科目(○)		医療従事者のための心理学(◎)													
		健康スポーツ科目(△)		統計学(○)													
		ヘルスサイエンスのための基盤数学(○)															
	(2)心身の機能と環境に基づく健康、疾病の予防、発症、治癒に関する知識・理解		解剖生理学Ⅰ(◎)	人間発達学(◎)	人間発達学(◎)	栄養学(◎)	栄養学(◎)	社会福祉学(◎)	社会福祉学(◎)	成人健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	災害医療と看護(◎)	地域包括ケア論(◎)	助産疾病論(△)	公衆衛生看護方法演習(△)		
			看護実践学原論(◎)	解剖生理学Ⅱ(◎)	解剖生理学Ⅱ(◎)	病理学(◎)	病理学(◎)	Introduction to Epodemiology and Population Sciences(△)	解剖実習(◎)	精神健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	Nursing in Grobal Health(◎)	保健政策論(△)				
				母性看護学概論(◎)	リプロダクティブ ヘルスとセクシュアリティ(◎)	臨床病態学(◎)	臨床薬理学(◎)	地域看護学概論(◎)	Introduction to Epodemiology and Population Sciences(△)	Global Health and Current Public Health Issue(△)	Global Health and Current Public Health Issue(△)						
						健康管理論(◎)	健康管理論(◎)	老年健康障害看護(◎)	老年健康障害看護(◎)	疫学(△)	疫学(△)						
						保健英語(△)	臨床生化学(◎)	小児健康障害看護(◎)	小児健康障害看護(◎)	基礎助産学(△)	基礎助産学(△)						
						小児保健学(◎)	微生物学・免疫学(◎)	周産期健康障害看護(◎)	周産期健康障害看護(◎)	地域子育て支援論(△)	地域子育て支援論(△)						
						成人看護学概論(◎)	保健英語(△)	精神看護学概論(◎)		保健統計学(△)	保健統計学(△)						
						小児看護学概論(◎)	成人看護学概論(◎)	公衆衛生看護学概論(△)		公衆衛生看護学Ⅱ(△)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)						
						老年看護学概論(◎)				公衆衛生看護学Ⅰ(△)							
						学校保健概論(△)											
						学校保健概論(△)											
	(3)看護実践理論、看護の基本的技術と態度に関する知識・理解		人間発達学(◎)	母性看護学概論(◎)	リプロダクティブ ヘルスとセクシュアリティ(◎)	成人看護学概論(◎)	成人看護学概論(◎)	老年健康障害看護(◎)	老年健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	災害医療と看護(◎)	地域包括ケア論(◎)	看護管理学概論(◎)	公衆衛生看護方法演習(△)		
			看護実践学原論(◎)			小児看護学概論(◎)	健康管理論(◎)	小児健康障害看護(◎)	小児健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	Nursing in Grobal Health(◎)	保健政策論(△)	助産疾病論(△)			
						老年看護学概論(◎)		周産期健康障害看護(◎)	周産期健康障害看護(◎)	基礎助産学(△)	基礎助産学(△)			助産管理学(△)			
						小児保健学(◎)		チーム医療と医療安全(◎)	社会福祉学(◎)	地域子育て支援論(△)	地域子育て支援論(△)						
						健康管理論(◎)		精神看護学概論(◎)		保健統計学(△)	保健統計学(△)						
						学校保健概論(△)		地域看護学概論(◎)		公衆衛生看護学Ⅱ(△)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)						
								社会福祉学(◎)		公衆衛生看護学Ⅰ(△)							
								公衆衛生看護学概論(△)									
	(4)個人と家族、地域の健康問題と看護に関する知識・理解		人間発達学(◎)	母性看護学概論(◎)	リプロダクティブ ヘルスとセクシュアリティ(◎)	成人看護学概論(◎)	成人看護学概論(◎)	老年健康障害看護(◎)	老年健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	災害医療と看護(◎)	地域包括ケア論(◎)	助産疾病論(△)	公衆衛生看護方法演習(△)		
			看護実践学原論(◎)			小児看護学概論(◎)	健康管理論(◎)	小児健康障害看護(◎)	小児健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	Nursing in Grobal Health(◎)	保健政策論(△)				
						老年看護学概論(◎)		周産期健康障害看護(◎)	周産期健康障害看護(◎)	疫学(△)	疫学(△)						
						小児保健学(◎)		チーム医療と医療安全(◎)	社会福祉学(◎)	基礎助産学(△)	基礎助産学(△)						
						健康管理論(◎)		精神看護学概論(◎)		地域子育て支援論(△)	地域子育て支援論(△)						
						学校保健概論(△)		地域看護学概論(◎)		保健統計学(△)	保健統計学(△)						
								社会福祉学(◎)		公衆衛生看護学Ⅱ(△)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)						
								公衆衛生看護学概論(△)		公衆衛生看護学Ⅰ(△)							
	(5)ヘルスケアシステムと看護職者間ならび他職種との協働に関する知識・理解		看護実践学原論(◎)	母性看護学概論(◎)	リプロダクティブ ヘルスとセクシュアリティ(◎)	成人看護学概論(◎)	成人看護学概論(◎)	老年健康障害看護(◎)	老年健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	災害医療と看護(◎)	地域包括ケア論(◎)	看護管理学概論(◎)	公衆衛生看護方法演習(△)		
						小児看護学概論(◎)	健康管理論(◎)	小児健康障害看護(◎)	小児健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	Nursing in Grobal Health(◎)	保健政策論(△)	助産疾病論(△)	助産管理(△)		
						老年看護学概論(◎)		周産期健康障害看護(◎)	周産期健康障害看護(◎)	基礎助産学(△)	基礎助産学(△)						
						小児保健学(◎)		チーム医療と医療安全(◎)	社会福祉学(◎)	地域子育て支援論(△)	地域子育て支援論(△)						
						健康管理論(◎)		精神看護学概論(◎)		保健統計学(△)	保健統計学(△)						
						学校保健概論(△)		地域看護学概論(◎)		公衆衛生看護学Ⅱ(△)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)						
								社会福祉学(◎)		公衆衛生看護学Ⅰ(△)							
								公衆衛生看護学概論(△)									
	(6)看護倫理に関する知識・理解		看護実践学原論(◎)	母性看護学概論(◎)	リプロダクティブ ヘルスとセクシュアリティ(◎)	成人看護学概論(◎)	成人看護学概論(◎)	老年健康障害看護(◎)	老年健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	成人健康障害看護(◎)	災害医療と看護(◎)	地域包括ケア論(◎)	看護管理学概論(◎)	公衆衛生看護方法演習(△)		
						小児看護学概論(◎)	健康管理論(◎)	小児健康障害看護(◎)	小児健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	精神健康障害看護(◎)	Nursing in Grobal Health(◎)	保健政策論(△)	助産疾病論(△)	助産管理(△)		
						老年看護学概論(◎)		周産期健康障害看護(◎)	周産期健康障害看護(◎)	基礎助産学(△)	基礎助産学(△)						
						小児保健学(◎)		チーム医療と医療安全(◎)	社会福祉学(◎)	地域子育て支援論(△)	地域子育て支援論(△)						
						健康管理論(◎)		精神看護学概論(◎)		保健統計学(△)	保健統計学(△)						
						学校保健概論(△)		地域看護学概論(◎)		公衆衛生看護学Ⅱ(△)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)						
								社会福祉学(◎)		公衆衛生看護学Ⅰ(△)							
								公衆衛生看護学概論(△)									

学習の成果		1年				2年				3年				4年			
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
評価項目		第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
能力・技能	(1)根拠に基づき，看護を計画的に実践する能力の知識と理解					看護技術学・基礎演習(◎)	看護技術学・基礎演習(◎)	看護技術学・応用演習(◎)	看護技術学・応用演習(◎)	小児看護方法演習(◎)	小児看護方法演習(◎)		助産診断学(△)	在宅看護方法演習(◎)	助産実践論(△)		
						ヘルスアセスメント(◎)	基礎看護学実習Ⅰ(◎)	母性看護方法演習(◎)	母性看護方法演習(◎)	精神看護方法演習(◎)	老年看護方法演習(◎)		学校保健演習(△)	助産実践論(△)			
									看護診断方法論演習(◎)	成人看護方法演習(◎)	成人看護方法演習(◎)						
									基礎看護学実習Ⅱ(◎)								
	(2)健康の保持増進，疾病の予防，健康の回復にかかわる実践能力の知識と理解					看護技術学・基礎演習(◎)	看護技術学・基礎演習(◎)	看護技術学・応用演習(◎)	看護技術学・応用演習(◎)	成人看護方法演習(◎)	成人看護方法演習(◎)		助産診断学(△)	在宅看護方法演習(◎)	助産実践論(△)		
						ヘルスアセスメント(◎)	基礎看護学実習Ⅰ(◎)	母性看護方法演習(◎)	看護診断方法論演習(◎)	小児看護方法演習(◎)	小児看護方法演習(◎)		学校保健演習(△)	助産実践論(△)			
									母性看護方法演習(◎)	精神看護方法演習(◎)	老年看護方法演習(◎)						
									基礎看護学実習Ⅱ(◎)	保健統計学(△)	保健統計学(△)						
	(3)根拠に基づき，看護を計画的に実践する能力の展開									老年看護学実習(退院支援・長期ケア)(◎)	老年看護学実習(退院支援・長期ケア)(◎)	母性看護学実習(◎)	母性看護学実習(◎)	成人看護学実習(慢性期)(◎)	成人看護学実習(慢性期)(◎)	助産学実習(△)	
												成人看護学実習(急性期)(◎)	成人看護学実習(急性期)(◎)	地域看護学実習Ⅰ(◎)	地域看護学実習Ⅱ(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)
												成人看護学実習(回復期・クリニカルケア)(◎)	成人看護学実習(回復期・クリニカルケア)(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅰ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅰ(△)		
												小児看護学実習(◎)	小児看護学実習(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)		
												老年看護学実習(治療期・緩和ケア)(◎)	老年看護学実習(治療期・緩和ケア)(◎)				
													精神看護学実習(◎)				
	(4)健康の保持増進，疾病の予防，健康の回復にかかわる実践能力の展開 *利用者：看護実践の場における看護サービスの利用者。患者，相談者，地域住民など包含する。									老年看護学実習(退院支援・長期ケア)(◎)	老年看護学実習(退院支援・長期ケア)(◎)	母性看護学実習(◎)	母性看護学実習(◎)	成人看護学実習(慢性期)(◎)	成人看護学実習(慢性期)(◎)	助産学実習(△)	
												成人看護学実習(急性期)(◎)	成人看護学実習(急性期)(◎)	地域看護学実習Ⅰ(◎)	地域看護学実習Ⅱ(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)
												成人看護学実習(回復期・クリニカルケア)(◎)	成人看護学実習(回復期・クリニカルケア)(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅰ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅰ(△)		
												小児看護学実習(◎)	小児看護学実習(◎)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)	公衆衛生看護学実習Ⅱ(△)		
												老年看護学実習(治療期・緩和ケア)(◎)	老年看護学実習(治療期・緩和ケア)(◎)				
													精神看護学実習(◎)				
総合的な力	(1)生命・看護倫理に対する判断力													総合実習(◎)	総合実習(◎)		
															多職種間連携教育(△)		
	(2)チームの一員として他者・多職種と連携し協働する能力と態度													総合実習(◎)	総合実習(◎)		
															多職種間連携教育(△)		
	(3)研究能力および自己研鑽力													総合実習(◎)	総合実習(◎)		
														研究方法論(◎)	多職種間連携教育(△)		
														総合実習(◎)	総合実習(◎)		
														研究方法論(◎)	多職種間連携教育(△)		
														Independent Study(△)	Independent Study(△)	Independent Study(△)	Independent Study(△)
														卒業研究(◎)	卒業研究(◎)		

（例）教養教育科目　専門基礎科目　専門科目　専門科目（公衆衛生・助産）　卒業研究　（◎）必修科目　（〇）選択必修科目　（△）選択科目

別紙５

看　護　プ　ロ　グ　ラ　ム　担　当　教　員　リ　ス　ト

教員名	職名	内線番号	研究室	メールアドレス
新福　洋子	教授	5345	国際保健看護学	yokoshim@hiroshima-u.ac.jp
梯　　正之	教授	5350	健康情報学	kakehashi@hiroshima-u.ac.jp
折山　早苗	教授	5355	基礎看護開発学	oriyama@hiroshima-u.ac.jp
大平　光子	教授	5360	助産･母性看護開発学	moohira@hiroshima-u.ac.jp
森山　美知子	教授	5365	成人看護開発学	morimich@hiroshima-u.ac.jp
祖父江　育子	教授	5370	小児看護開発学	sobue@hiroshima-u.ac.jp
國生　拓子	教授	5375	精神保健看護開発学	kokusho@hiroshima-u.ac.jp
田邊　和照	教授	5380	成人健康学	ktanabe2@hiroshima-u.ac.jp
中谷　久恵	教授	5390	地域･在宅看護開発学	hinakata@hirosima-u.ac.jp
川﨑　裕美	教授	5395	地域･学校看護開発学	khiromi@hiroshima-u.ac.jp
宮下　美香	教授	5385	老年･がん看護開発学	mikamiya@hiroshima-u.ac.jp
小澤　未緒	准教授	5432	基礎看護開発学	ozawamio@hiroshima-u.ac.jp
菅井　敏行	准教授	5458	地域･在宅看護開発学	tsugai@hiroshima-u.ac.jp
恒松　美輪子	講師	5346	健康情報学	tsunematsu@hiroshima-u.ac.jp
藤本　紗央里	講師	5361	助産･母性看護開発学	fsaori@hiroshima-u.ac.jp
竹中　和子	講師	5378	小児看護開発学	takewank@hiroshima-u.ac.jp
寺本　千恵	講師	5366	成人健康学	
松山　亮太	助教	5356	健康情報学	rmatsuyama@hiroshima-u.ac.jp
新宮　美穂	助教	5347	基礎看護開発学	mshinguu@hiroshima-u.ac.jp
山下　琴美	助教	5347	基礎看護開発学	cotomi@hiroshima-u.ac.jp
村上　真理	助教	5352	助産･母性看護開発学	muromari@hiroshima-u.ac.jp
上野　陽子	助教	5352	助産･母性看護開発学	yokoueno@hiroshima-u.ac.jp
加澤　佳奈	助教	5382	成人看護開発学	kkazawa@hiroshima-u.ac.jp
城下　由衣	助教	6716	小児看護開発学	shiroshita@hiroshima-u.ac.jp
橋野　明香	助教	5382	精神保健看護開発学	tasuka@hiroshima-u.ac.jp
澤渡　浩之	助教	5356	成人健康学	sawatari@hiroshima-u.ac.jp
藤田　麻理子	助教	5397	地域･在宅看護開発学	ma-fujita@hiroshima-u.ac.jp
山崎　智子	助教	5397	地域･学校看護開発学	morisato@hiroshima-u.ac.jp
角甲　　純	助教	5377	老年･がん看護開発学	jkako@hiroshima-u.ac.jp

※「０８２－４２４－（内線番号４桁）とすれば，直通電話となります。
（霞：０８２－２５７－（内線番号４桁））
（東千田：０８２－５４２－（内線番号４桁））